

# 【優良賞】モノづくり情報を生かした3D帳票自動生成、配布システムの開発



代表取締役社長  
鳥谷 浩志 氏

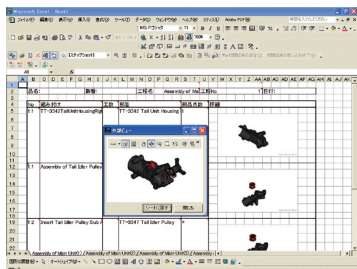
ラティス・テクノロジー 株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-8-11

飛栄九段ビル4F

TEL. 03 (5212) 5121

<http://www.lattice.co.jp/>



設計部門の3次元(3D)CADデータから、パーツリストや作業・加工手順書を自動作成するシステム。CADデータを軽量化する独自フォーマット「XVL」形式が中核技術で、製品の形状・構成情報に加え組み付けや加工手順、サービス部門における保守部品情報まで表現できる。

製造業の製品設計から製造に至るプロセスでは多種多様な文書が人手によって作成されており、CADの導入が進んでも状況は大きく変わらなかった。そこで3次元CADの普及によって蓄積されたデータに注目し、文書作成の効率化を狙ってシステム開発に取り組んだ。従来から文書の多くは表計算ソフト「エクセル」形式で作成されており、XVLをそこに埋め込み、文書を自動作成できるようにした。画面上では角度を変えて3D形状を表示・確認することも可能で、作業・加工ミス軽減にもつながっている。

XVLのデータには「製品の形状情報」に加えて「製品の構成情報」が含まれており、そのままパーツリストになる。そこに工程を定義しておけば作業手順書、加工情報を定義しておけば加工手順書を自動作成できる。文書作成の省力化にとどまらず、iPad(アイパッド)などのタブレットパソコンを使った製造現場のペーパーレス化も現実になっている。